

8月8日

聖父ドミニコ・デ・グスマン 司祭 祭日

説教者兄弟会創立者



父ドミニコは1170年、スペイン・カレルエガの貴族グスマン家に生まれた。パレンシアで勉学を重ねて司祭に叙階された、オスマの司教座聖堂参事会員となった。間もなく、参事会員の隠れた典礼生活、観

想生活から当時の南部フランスに広まっていたアルビ派の異端と闘う、より行動的な奉仕へと呼ばれた。プレイユで彼自ら正しい信仰

に連れ戻した貴族の娘たちに修道生活を教え導き、10年以上地方を巡回。家から家へと物乞いをし、根気よく説教の旅を続けた。この間、彼は使徒時代の貧しさを持って生活し、学び合うことにより、真理を広めるように養成される司祭の特別な集団が必要であることを確認するようになり、この確信を礎に説教者兄弟会が誕生した。会は1216年、教皇ホノリウス3世により正式に認可された。

聖ドミニコは「観想せよ、観想の実りを人々に伝えよ」とい motto のもとで、祈りと勉学に励み、人々の靈魂の救いのためにみ言葉を宣べ伝える情熱的な活動に生涯を捧げた。聖ドミニコの宣教活動の靈性は、観想と活動の調和の上に成り立ち、従順、貞潔、清貧の三誓願を文字通りに生きることによって、言葉だけではなく生活で証した。ドミニコはまた優れた指導者、改革者、創立者でもあり、生活のこの側面に驚くほど適った特徴をも備えている。すなわち問題の本質と、それに対する最も適切な解決は何かを把握できる力、天才に近い組織力、共に働く仲間の能力と善意への無限の信頼である。

慈愛に満ちたかれたまた、女性たちを助けるカリスマ、そして自分の務めに彼女たちを参加させる知恵と勇気を兼ね備えていた。彼の働きで三つの女子修道員を創立したこと、また彼が、南フランスで過ごした何年かの間、彼の必要に心を配った多くの敬虔な信徒の女性たちが父と仰ぐ聖者の心を伝える中に、このカリスマの偉大さ、そのいい気な実りを見ることができる。1221年8月6日、ボローニャで帰天。自らの望みどおり、兄弟の足もとに埋葬された。1234年、親友であった教皇グレゴリオ9世により列聖された。

【 聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州

サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）

による改定版から